

ちょっとひと工夫

NO.15

—家庭学習改善のための情報—

教学指導課

家庭学習の改善を進めている学校の工夫を、下記の改善のポイントに照らし合わせて紹介しています。参考にご覧ください。



改善のポイント B, C型

自分で計画を立てて自主学習に取り組むことができるよう工夫しているP中学校

○改善の取組の具体例

- ・ノ一活デーの放課後に、家庭学習についての補充・補完の時間を設定。
- ・自立的な家庭学習習慣の形成を目指して、5教科の1週間分の宿題を提示。自分で計画を立てて実施できるよう工夫。

改善のポイント C型

テスト期間を利用して自分で計画を立てて学習するための支援をしているQ中学校

○改善の取組の具体例

- ・テスト前に学習集中期間を設定し、学習計画の立て方を指導。保護者による学習の様子チェックを実施。
- ・学習時間とテスト点の相関などについて分析し、情報を生徒や保護者へ紹介。

改善のポイント A型

授業と関連付けた家庭学習となるように課題を工夫して提示しているR中学校

○改善の取組の具体例

- ・数学では、学習内容に合わせた課題を授業中に提示。国語・英語では、土日に記述式の課題を提示。理科・社会では、資料を読み取るなどの課題を指示。
- ・個に応じて小学校の復習問題なども用意。

改善のポイント C, E型

家庭学習について個に応じた指導を行っているS中学校

○改善の取組の具体例

- ・作業的な家庭学習から脱却するために、記述式の課題や全国学調の問題等を活用。
- ・放課後、家庭学習が習慣化していない生徒に対して個別支援。「質問の時間」を設定して、研究室や職員室で個別指導。

新たな家庭学習モデル創出事業の成果

モデル校の取組から明らかになってきた改善のポイント

- 授業と関連付けた家庭学習にする。
- 家庭学習の内容について子どもたちが確実に理解したかを評価し、補充指導を行う。
- 子どもたちが自分で見つけた課題に取り組む家庭学習にもチャレンジさせる。
- 小中連携して9年間を見通して家庭学習を考える。
- 子どもたちとともに家庭学習の内容や方法を考え、見直しをしていく。

